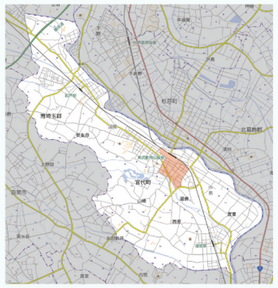
地区自治会におじゃまします！

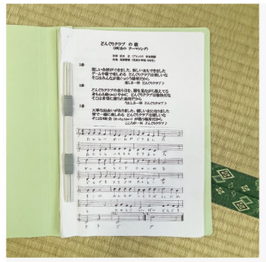
このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特色などをお届けいたします。

◆ 特別編：８町会 交流サロン「どんぐりクラブ」

自治会情報［ ８町会連合会 ］ 2023年4月1日現在

【構成】 ８町会	全７１１世帯
笠原２丁目町会	９８世帯
新道第一町会	９６世帯
新道第２町会	６５世帯
新道３区町会	１１０世帯
中央第１町会	８０世帯
中央第２町会	７１世帯
宮代1丁目１町会	１２１世帯
宮代1丁目第２町会	７０世帯





【どんぐりクラブ楽譜】
オリジナル曲を地区で自作するなんて、何という地域力の高さ！
みんなで歌うことで、会場には温かな一体感が生まれます。

宮代町内には、集会所などを会場としたサロンがたくさんあります。その中の１つ、東武動物公園駅西口にほど近い新道集会所で８町会連合会が開催している「交流サロン どんぐりクラブ」に参加してきました。

【 地域の温かい居場所として 】

どんぐりクラブは２０１４年９月に設立され、毎月第３月曜日に開催されています。「地域のみなさんを知ることから始まり、想い出を語りながら、共に生きる」を合言葉に楽しい時間を過ごしていらっしゃるとのことです。発足当初、サロンを開催すると毎回６０名ほどの参加があり、会場の新道集会所はいつもすし詰め状態になるほどでしたが、コロナ禍で開催が難しい時期を超え、現在は２０名前後の参加者があるとのことです。取材に伺った日は敬老の日にちなんだ特別開催日でしたが、２０名ほどの参加がありました。会場に参加者が到着すると「〇〇さん、久しぶりだねぇ。」「よく来てくれたねぇ。元気そうだね。」など、スタッフの方々が一人一人に温かい声掛けをして席まで案内します。参加者の多くは女性ですが、男性も気兼ねなく過ごせるように席を確保するなど、さりげない配慮がうかがえました。みなさんが集まり席に着いたのを見計らって、「どんぐりクラブの歌」というテーマソングを全員で歌うことからサロンが始まりました。この歌は、当時の地区役員やそのお孫さんが制作した完全オリジナル曲。サロンに集う楽しさや地域性がぎっしり詰まっており、参加者みんな歌うと「地域の温かい場所に来られたんだな」と、何とも言えない居心地のよさと一体感がありました。体操や早口言葉、歌などで体も気持ちも温まったところで、この日は敬老の日にちなんだ特別昼食会となりました。

【 写真を通してふりかえる 】

どんぐりクラブが開催されている新道集会所では、２０１６年に地域の小さな写真展「まちをアルバムにする」を開催しました。この写真展は、宮代町の町制施行６０周年を機に「草の根で何かお祝いをしたい」という市民の方の声を受けて進修館が地区・自治会と協力して実施したもので、地域の方々に自宅にある個人のアルバムを集会所に持ち寄っていただき、その写真をデジタルデータ化した後、それぞれの集会所にあった方法で展示するという取り組みです。実施に当たっては日本工業大学にも協力いただきました。会場では、写真を介してよみがえる思い出を地域の方々が懐かしみながら会話したり、「ばぁばも子どもだったことがあるんだね」とお孫さんにびっくりされるほほえましい会話が聞こえてくるなど、会場にはとても温かい時間が流れていました。また、集会所が地域にとっての拠点であることを再確認することができました。この度の取材の際、当時新道集会所に展示した写真の一部を持参し、同じように展示させていただいたところ、参加者のみなさまにはとても喜んでいただけました。また、今回も写真を囲んで懐かしい会話が交わされているのを見て、改めて写真の持つ力を感じました。

【 地域でひとりにしたくない 】

どんぐりクラブを支えているのは地域のボランティアスタッフの方々です。この日も、会の進行や歌・体操指導にはじまり、お弁当の買い出しや会場設営など、細やかな心配りをしつつも手際よく作業されていました。スタッフの方にお話を伺うと、みなさん口々に「どんぐりクラブあることで、参加者の方はご自身が地域につながっていると感じていただけている」「地域でひとりにならないように、自宅にこもりがちな方にもっと来ていただきたい」とおっしゃいます。地域のコミュニティ活動の大切さとともに、地域だけで支えることの難しさも同時に実感しました。

【まちアル展示の様子】
８年前に集会所で開催した「まちをアルバムにする」の展示を再現。
懐かしい写真を囲んで会話が弾んでいました。

ちょこっとコラム

このコーナーは、読者の皆さまに楽しんでいただける様々な情報をお届けしています。

◆ 大好評！「思い出写真をデジタル化！」

【 実は…デジタル化は、あまり人気がない 】

タイトルで「大好評！」と謳っておきながらサブタイトルで「人気がない」と表記する矛盾（笑）。進修館で「思い出写真をデジタル化！」というサービスを始めてから約４ヶ月ほど経ちます。おかげさまで、サービス自体は好評で、ご依頼件数も上々です。「皆さんの生きた証が失われていくのは悲しい…」「古い写真やその思い出を後世に残したい」という想いで始めたサービスですので、ご利用いただけるのは本当に嬉しいです。

さて「好評なのに人気がない」とは如何に？についてですが、ご依頼のほとんどが「古い写真をデジタル化する」のではなく、「古い写真を綺麗にして再び印刷しなおす」つまり「紙→デジタル」ではなく「紙→紙」を希望されます。なので「サービスは好評だけどデジタル化は人気がない」ということなんです。

【 ポイントは「修復とカラー化」 】

このサービスは元々「写真（紙）はかさばるから、残念だけど捨ててしまおう」という方が多くいらっしゃったので、「であれば、デジタル化しませんか？」という形で始めました。ですが、皆さまにお渡しする形としては、別にデジタル化にこだわっているわけではありません。このサービスの一番のポイントは「写真の修復とカラー化」だと思いますので、その部分に着目して、ご依頼をいただければと思います。（ちなみに、補正作業する前に写真をデジタル化するので、結果としてデータが残る＝皆さんの生きた証が後世に継がれていきます。）

【 とりあえず、ご相談ください 】

古い写真の特徴として「色褪せている」「破れている」「にじみや酷い凹凸がある」「サイズが小さい」など、様々な劣化症状があります。ぱっと見で修復不可能と感じる写真でも、思いのほか修復できたりしますし、「アルバムのフィルムや、写真立てのガラスにくっついて剥がれない」といった場合でも、そのまま持参していただければ対応いたしますので、興味がある方は、とりあえずご相談ください。

思い出写真をデジタル化！～ 参考事例集 ～

破れがひどく、一部をセロハンテープで補修した写真

AIによる修復とカラー化

AI による補修とカラー化。
右側の方のカラー化がイマイチ。
足付近の破れや色の再現もイマイチ。

追加で技術者が修復

ＡＩで補いきれない箇所や色がおかしい部分を技術者が手作業で修復。

強めの色褪せと折目がついた写真。

AIによる修復とカラー化

ＡＩによる補修とカラー化。
肩の部分が壁と同化したり
服色がまばらなど色再現が微妙。

追加で技術者が修復

技術者による修復。肩のラインを明確にし、服色の色も再現。
御札の文字も判別できるように。

著しく色褪せた写真。
全体が黄色くなっています。

AIによるカラー化

ＡＩによるカラー化。
補修なしでもここまで色再現されました。

とても小さく
表情もわかりにくい写真。
実寸大（36mmx24mm）

これまでのご依頼で、劣化が激しくて修復できなかった写真は、全体の１割程度。10人を超えるような集合写真は、AIによる修復が難しい傾向にあります。

AIによるカラー化と拡大。表情がはっきりわかるようになりました。

AIによるカラー化と拡大処理

AIによる修復とカラー化

写真下部が破れてしまっています。
また、右側の女の子のズボン付近に汚れている箇所があります。

追加で技術者が修復

ＡＩで補修とカラー化。写真下部の破れはAIによる補修です。ズボン付近の補修は技術者によるもの。